

誤

正

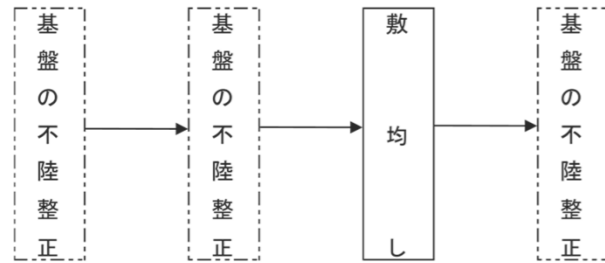
4 仮設砂利敷道路（新設道路）（WP018152）

(1) 適用範囲

本歩掛は、工事前仮設砂利敷道路の砕石等の敷均し作業に適用する。

(2) 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。  
2. 路床の掘削作業は含まない。

(3) 施工機種

機種は次表を標準とする。

表(3).1 施工機種

機種	規格
バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> （平積0.2m <sup>3</sup> ）

(4) 作業歩掛

敷均しにおける作業歩掛は、次表を標準とする。

表(4).1 施工機種

機種	作業内容	世話役	普通作業員	敷均し機械運転時間 (hr)
		(人)	(人)	
バックホウ	敷均し 舗装面仕上げ無し	0.22	0.62	2.5

(5) 敷砂利の使用量

敷砂利の使用量は、次式により算定する。

$$100\text{m}^2\text{当り敷砂利の使用量 (m}^3\text{)} = 100 \times \text{敷砂利仕上がり厚さ (m)} \cdots \cdots \text{式(5).1}$$

(6) 単価表

(6)-1 仮設砂利敷道路（新設道路） 100m<sup>2</sup>当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表(4).1
普通作業員		人		〃
舗装材				式(5).1
バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> （平積0.2m <sup>3</sup> ）	h		表(3).1
計				

(6)-2 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> （平積0.2m <sup>3</sup> ）	機-1	

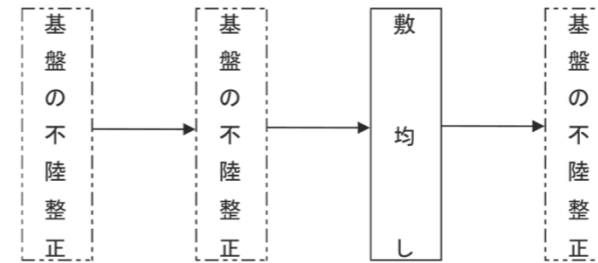
4 仮設砂利敷道路（新設道路）（WP018152）

(1) 適用範囲

本歩掛は、工事前仮設砂利敷道路の砕石等の敷均し作業に適用する。

(2) 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。  
2. 路床の掘削作業は含まない。

(3) 施工機種

機種は次表を標準とする。

表(3).1 施工機種

機種	規格
バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> （平積0.2m <sup>3</sup> ）

(4) 作業歩掛

敷均しにおける作業歩掛は、次表を標準とする。

表(4).1 施工機種

機種	作業内容	世話役	普通作業員	敷均し機械運転時間 (hr)
		(人)	(人)	
バックホウ	敷均し 舗装面仕上げ無し	0.20	0.62	2.5

(5) 敷砂利の使用量

敷砂利の使用量は、次式により算定する。

$$100\text{m}^2\text{当り敷砂利の使用量 (m}^3\text{)} = 100 \times \text{敷砂利仕上がり厚さ (m)} \cdots \cdots \text{式(5).1}$$

(6) 単価表

(6)-1 仮設砂利敷道路（新設道路） 100m<sup>2</sup>当り単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		表(4).1
普通作業員		人		〃
舗装材				式(5).1
バックホウ運転	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> （平積0.2m <sup>3</sup> ）	h		表(3).1
計				

(6)-2 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積0.28m <sup>3</sup> （平積0.2m <sup>3</sup> ）	機-1	